

大橋川改修にともなう掘削土の有効活用について

令和8年2月14日

出雲河川事務所 計画課



大橋川改修の施工手順

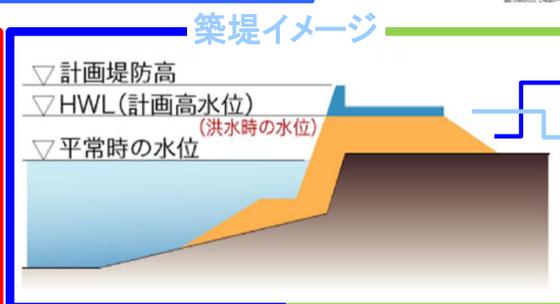
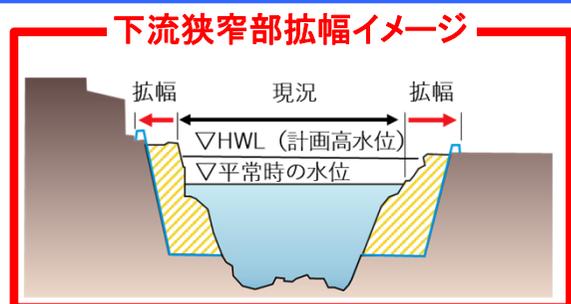
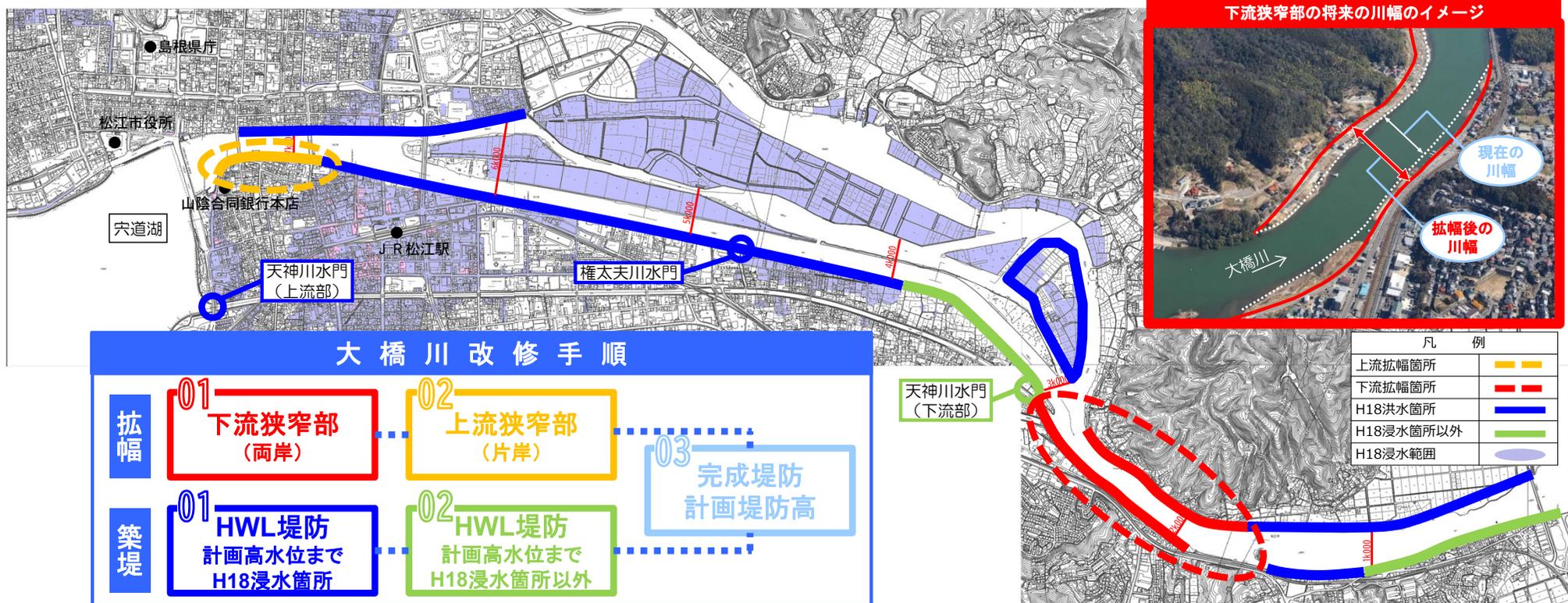
■ 整備順序の考え方（平成22年9月整備計画作成）

① 狭窄部の拡幅を最優先

・宍道湖を含め全川にわたって水位低減効果が期待できる狭窄部の拡幅（下流→上流の順）を実施

② 堤防の整備

・堤防の整備は段階施工とし、計画高水位までの堤防高確保を先行して実施し、その後、計画堤防高まで堤防の整備を実施
・計画高水位までの堤防の整備にあたっては、水害リスクの高い箇所（平成18年7月洪水浸水実績箇所）等を優先的に実施



順序① 先ず計画高水位までの高さを整備します。

順序② 次に計画高水位より上を整備します。



大橋川改修の現状について(令和8年2月1日 現在)

東本町地区 東本町地盤対策工事



【工事内容】地盤改良工 他
【進捗状況】工事が完了しました。

中の島 中の島工船用船着場設置工事



【工事内容】船着場工 他
【進捗状況】船着場の鋼矢板頭部に笠コンクリートの設置を行っています。

松崎島地区 松崎島地区工船用道路他工事



【工事内容】道路土工・地盤改良工・舗装工 他
【進捗状況】松崎島で工船用道路の盛土工を行っています。



天神川水門(平成27年1月完成)



天満湖への開けた眺望に配慮した水門形式を採用しています。

向島地区(平成30年3月概成)



水辺のオープンスペースとして利用できる堤防護岸が概成しました。

上追子川排水機場(令和3年9月完成)



排水総能力 10.4m³/s(3台)のポンプ整備が令和2年10月に完了し、周辺の堤防整備も令和3年9月に完了しました。排水機場の能力は、従来の5.4m³/sから更に5.0m³/s増強されました。

朝酌町矢田地区



【工事内容】河川土工・護岸工・付帯道路工 他
【進捗状況】付帯道路工(ブロック積、側溝)、護岸工(石積工)を行っています。

朝酌護岸整備他工事



■ 大橋川改修では、工事による影響が見込まれる動植物や、それら動植物の生息生育環境を保全・維持し、改修による河川環境への影響を可能な限り軽減すべく、環境保全措置に取り組んでいる。

■ 河道拡幅や築堤により消失する恐れのあるヨシ群落・コアマモ群落の保全措置（移植）のため、中の島に生育基盤を計画している。

工事によるヨシ、コアマモの変化



河岸全域に見られるヨシ群落

ヨシ群落は、ウデウミアンサシガメやカワザンショウガイ類など重要な種の生息生育基盤となっている。



下流左岸のコアマモ群落

コアマモ群落は、魚類（稚魚期や産卵期など）や甲殻類等の生息生育基盤となっている。

◆大橋川改修の影響が見込まれる動植物の一例



ウデウミアンサシガメ



ヨシダカワザンショウガイ



ヒメシロアザ



コアマモ

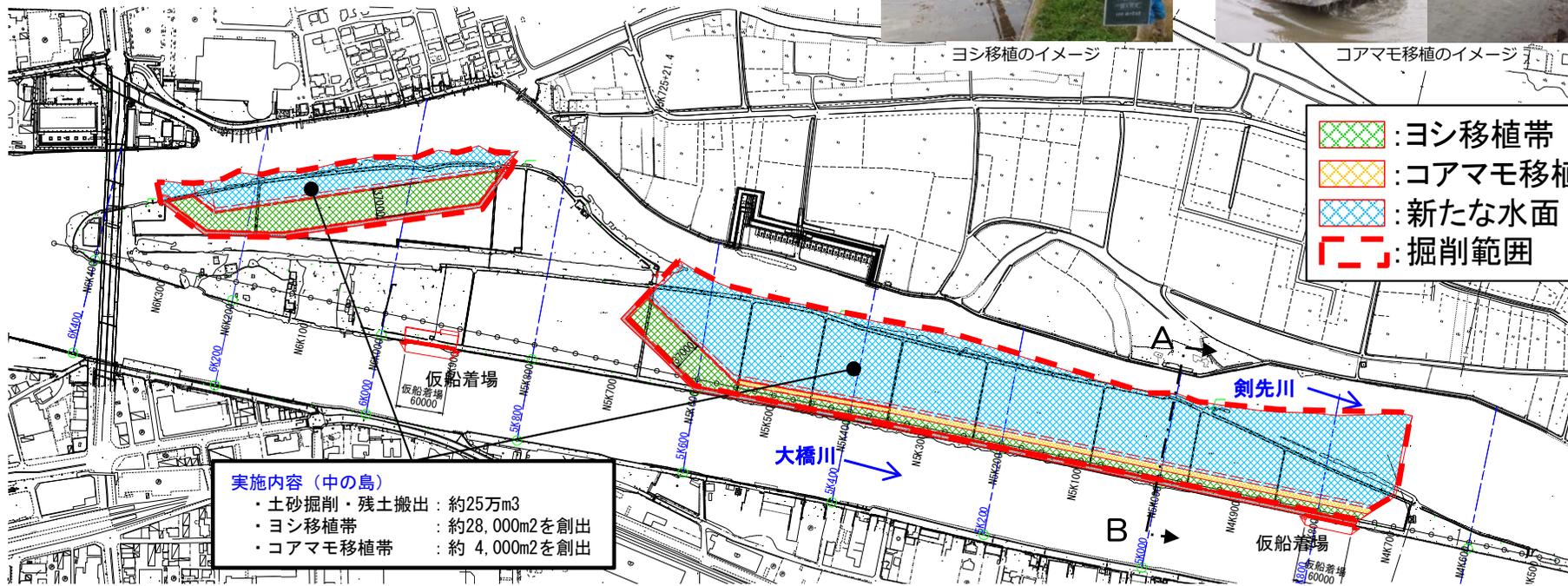
中の島での保全措置のイメージ



ヨシ移植のイメージ



コアマモ移植のイメージ



- :ヨシ移植帯
- :コアマモ移植帯
- :新たな水面
- :掘削範囲

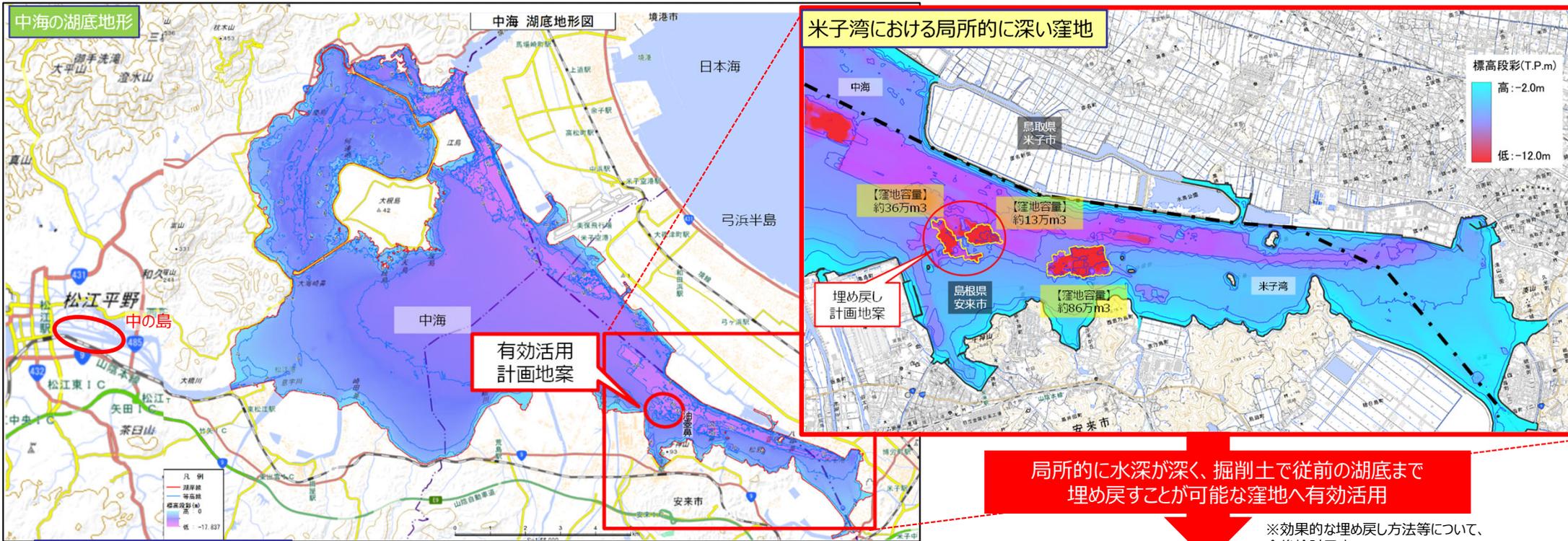
実施内容 (中の島)

- ・土砂掘削・残土搬出：約25万m³
- ・ヨシ移植帯：約28,000m²を創出
- ・コアマモ移植帯：約4,000m²を創出



大橋川改修にともなう掘削土の有効活用について

- 大橋川改修にともなう中の島掘削や大橋川下流狭窄部の拡幅により掘削土が大量に発生（約50万m³）する見込み。
- 大量の掘削土を経済的に処理するため、中海の窪地の一部を埋め戻す土砂として有効活用し、副次的に中海の環境保全にも寄与することを期待する。
- 大橋川の掘削土を有効活用する場所は、掘削土量相当の窪地2カ所（油壺鼻沖）を計画しており、その他の窪地の埋め戻しは予定していない。
- なお、具体的な埋め戻しの方法等については今後検討。



局所的に水深が深く、掘削土で従前の湖底まで埋め戻すことが可能な窪地へ有効活用

※効果的な埋め戻し方法等について、今後検討予定

